

フリーダム 掲示板



親子で楽しく自然を学ぼう!!

今年で2回目を迎える「安威川フェス」。音楽やパフォーマンス、カフェなど楽しいイベントが満載です。中でも、安威川の生物多様性を考える「安威川フリーダム」メンバーは、周辺の自然をテーマにした展示やミニゲーム、それぞれの専門家の先生がみなさんの疑問や質問に答えたり、楽しい一日を提供します。知っていたこと、知らなかったこと。安威川の自然が大好きになれる体験いっぱいです。詳しくは安威川フェスティバル2015のチラシをご覧ください。



アマゴのつかみ捕り&塩焼き 食文化としての川魚と安威川の自然を体感。

皆さんは安威川に漁業協同組合があることを知っていますか？ 安威川上流部の車作にあり、現在97名で運営しています。



年々釣り客が減少し運営が難しくなってきましたが、5年ほど前からアユやニジマス・アマゴを使った「魚のつかみ捕り」を開催したところ、どんどん人気が出て、今では待ち遠しく思ってくれる子どもたちもいます。今年の安威川フェスでは「アマゴのつかみ捕り&塩焼き」を開催します。このイベントのテーマは3つ。1つ目は「みる」です。簡易プールに生きたアマゴを泳がせ、その動きや姿を観察してもらい、アマゴの習性や特徴を体験的に学んでもらいます。2つ目は「ふれる」。簡易プールに飛び込んで自分でアマゴを捕まえます。アマゴは運動能力の高い淡水魚なので、元気なうちはなかなか捕まえられません。少しずつ追い込み、捕まえられた時に獲物を捕る難しさとおもしろさを

同時に体感。自然を直に触れて感じることができます。3つ目は「たべる」。捕まえたアマゴに塩をふって竹串をさして表面がアメ色になるまで焼き、美味しくいただきます。捕まえなければもう少し生きていたアマゴ。皆さんのために命を差し出してくれたと思いつつ、命の尊さ、自然の恵の大切さを感じてもらえればと思っています。「みる」「ふれる」「たべる」をテーマに、これからも安威川の自然と命を考える安威川上流漁協組合は、皆さんとの交流をどんどん深めていきます。ぜひ、安威川フェス会場で笑顔を見せてください。

安威川上流漁業協同組合 組合長 角野一雄

時間 午前10時～。用意したアマゴ300匹がなくなり次第終了。



オリジナル缶バッジづくり

安威川の生きものを描いて缶バッジにしよう。



安威川には、さまざまな生物が棲息しています。会場にはアマゴだけでなく、オイカワ、カワムツ、カマツカなどの淡水魚やカメなどの生体展示をする予定です。また、昆虫類の標本も。専門家の先生から学んだことを覚えるために、生きものを描いて自分だけの缶バッジをつくりましょう。安威川の思い出づくりにどうぞ。

淀川管内河川レンジャー 石山郁慧

時間 午前10時～。用意したバッジがなくなり次第終了。

大阪府安威川ダム建設事務所ホームページ

<http://www.pref.osaka.lg.jp/aigawa/>

安威川ダムおよび周辺のファンづくり会の情報サイト

<http://www.aigawa.jp/>

安威川



2015
Vol.2

フリーダムとは、英語で自由という意味。自由で楽しい水辺の環境をみんなで守っていきましょう。

あいがわ自然史博物館

「森の賢者」「物知り博士」などの愛称で親しまれているフクロウ。面のような顔に大きな目が特徴的で、物語や映画などにも登場する愛嬌あるキャラクターです。昼間は樹上や樹洞で目を閉じて休息し、日が落ちる頃から獲物を待ち伏せ、羽音も立てずに急降下して捕らえるので「森の忍者」とも呼ばれています。この羽音を立てない特殊な形は、新幹線のパンタグラフや風力発電のプロペラのデザインの参考にもなっています。

食性は動物食で、ノネズミやリス、カエルやカブトムシ、セミなどを食べる猛禽類です。鳴き声は「ゴッホウ ゴロッケ ゴッホウ」と聞こえ、この声を日本語に置き換えた「聞きなし」の「五郎助奉公」「ポロ着て奉公」は有名です。また、フクロウは「福老」や「不苦労」という当て字から、縁起物のお土産や工芸品にもなっています。安威川水系の山間部でも春頃につがいで巣作りを始め、秋頃にヒナが独り立ちする姿が確認されています。

森の忍者 梟(フクロウ)
Strix uralensis フクロウ目フクロウ科



たくさん生息しているわけではありません。限られた地域、巣作りや餌捕りに適した環境でしか見られないため、安威川水系にフクロウがいることは、あまり知られていないのです。フクロウが暮らしやすい安威川の森をみんなで守り、大切にしていきたいですね。

